中央公園・本多の森公園の平成２２年度管理状況

施設所管課	土木部公園緑地課
指定管理者	植宗・吉村グループ 代表者　㈱植宗園　代表取締役　植村　章英
指定期間	平成 20 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

（１）管理業務の実施状況

業務内容 （協定・条例に規定）	具体的な業務（仕様書、事業計画）の実施状況 （不十分な場合、その理由、指摘事項を記入 新規業務に関しては、新規であることが分かるよう記入）
使用する者への利便の提供に関する業務	施設の使用、案内等の接遇向上 ・従事員全員・作業員に対し、マナー向上を徹底 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・利用者アンケートの実施（延 300 通） ・ご意見箱の設置（延 10 通） ・利用者ニーズの反映（案内看板等の改善など） その他特記事項
利用の促進に関する業務	自主事業の企画・実施 ・こどもクラフト教室・ドッグレスキュー・音楽イベント（延 5,650 人） ・ロックガーデン作成【新規】 ・落葉の小路作成 ・若者ジョブサポートによるロックガーデン管理【新規】 ・落葉リサイクル 施設の情報提供、広報、広告 ・ホームページを更新・園内掲示板による告知 ・地元ボランティア団体（若者サポートステーション）としごと体験について連携
使用の許可に関する業務	使用許可、使用料の徴収、納入 ・使用許可の件数（（２）②参照） ・使用料の収入実績（（３）参照）
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	清掃：トイレ、園路を１回／日（２～３名） 保守点検：街灯２回／月（夜間パトロール） 消雪及び循環ポンプ（専門業者による） 警備及び巡回：１回／日 小規模修繕：カスケード部品交換・便器修繕・車止修繕・電球修繕
（その他知事が必要と認める業務）	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・職員の安全管理研修・強風、豪雨、積雪前後の園内点検。 ・枯枝の除去や折枝の排除・地震後の園内点検（金沢市震度４以上） 個人情報の管理状況 ・取得した個人情報のコピー、複製の作成は原則行わない。 ・取得した個人情報管理は管理者内で一定期間教育を受けた個人情報取り扱い責任者が行う。 ・本人の承諾なしに第三者への開示を行わない。

（２）施設の利用状況

①利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

指標	Ｈ２１年度	Ｈ２２年度	前年度比	増減理由
利用者数（人）				

②使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			

（３）使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況　（円）

	収入額	減免額	減免理由
該当なし			

（４）収支決算

（千円）

収入		支出	
管理料	34,895	人件費	1,000
自主事業収入	227	光熱水費	3,310
		修繕費	655
		緑地等施設管理費	28,126
		その他	2,255
合計	35,122	合計	35,346
収支差額	△224		

（５）その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

①利用者の意見等

（ア）利用者アンケート結果（H22 年 4 月～H23 年 3 月実施　有効回答数 300 件）

項　目	回　答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	81.5%	18.5%	0%	0%
施設の維持管理	86.0%	14.0%	0%	0%

（イ）利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成 22 年 7 月	花壇に植えてある植物の名称を教えて欲しいという問い合わせあり。	花の名称を記した物を配布した。

②事故、故障等

年月	内容	対応
該当なし		

③その他報告事項など

（６）評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	A	・各種自主事業の実施や、インターネットホームページへのイベント情報の掲載などサービスの維持・向上に努めている。 ・イベント等の案内掲示板を設置し、ＰＲに努めている。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・施設内は常に清潔に保たれており、仕様書等に基づき適切な管理がなされている。 ・指定管理者の専門的な造園業者のノウハウを活かし、自らが樹木管理を行っている。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	・適切な職員の配置がなされており、業務に関する研修・講習が十分なされている。 ・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。
④その他、必要と認める事項（例：苦情処理、個人情報保護）	B	・個人情報に関する指針を定め、職員に周知徹底を図っており、適切な情報管理が行われている。
総合評価	B	・施設の設置目的にあった管理運営がなされており、今後も造園の専門的なノウハウを活かした管理や、更なる利用促進への取り組みを期待する。

〇評価基準
Ａ（優）：仕様書等に定める水準を上回っている
Ｂ（良）：仕様書等に定める水準を十分に実施している
Ｃ（可）：仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
Ｄ（不可）：仕様書等に定める水準を下回っている

〇総合評価
Ａ（優）：適正であり、優れた実績をあげている
Ｂ（良）：適正である
Ｃ（可）：概ね適正であるが、一部改善を期待する
Ｄ（不可）：改善が必要である

※評価にあたっては、利用者アンケートの結果を考慮するものではないので注意すること

（７）助言・指摘事項

隣接する諸施設との、より一層の連携や調整を期待する。